

多職種連携教育（高学年IPE）の授業概要			
授業概要	学部学生による討論を通じて、より望ましい多職種連携および協働によるチーム医療の在り方について理解を深める。具体的には、学科・専攻横断的なチームにおいて、専門性の観点および専門領域の枠組みを超えた観点から、PBL (problem-based learning) 形式で、シナリオ（事例）に関する多職種連携・協働によるチーム医療の実践について討論し、その成果を発表する。		
目的	保健医療の各領域における専門職業人として、多職種連携・協働によるチーム医療の考え方・態度について理解する。 ケア対象者（家族を含む）にとっての、より望ましい多職種連携および協働実践の意義とあり方について理解する。		
到達目標	1. シナリオ（事例）について、多職種連携・協働に参加する各職種の役割と責任を述べることができる。 2. 専門職種間の対立に気づき対立解消に向けたよりよいチームワークのためのコミュニケーションが取れる。 3. 各々の専門性の枠を越え、保健医療専門職業人に必須の共通する基礎的知識・技術・態度について討論することができる。 4. シナリオ（事例）の多職種連携・協働によるチーム医療の実践について、生活者である当事者の視点で保健、医療、福祉の側面から計画立案できる。 5. シナリオ（事例）当事者の地域での生活における、多職種連携・協働による倫理実践を模擬患者/模擬患者家族とのロールプレイングにより実施できる。 6. 各自の専門性を踏まえて、協働型リーダーシップについて考察できる。		
学習方法	シナリオの活用 文献検索等 学科・専攻横断的チームによるPBL形式の学習		
学習上の key words	多職種連携・協働、PBL		
学習 resource	大学病院等関連施設、文献、既習の授業内容など		
予習・復習への アドバイス	自分がどのような貢献をできたか、他のメンバーとの違いは何だったかを客観的に振り返ることで、多職種連携・協働における自身の強み・弱みを把握できます。		
授業スケジュール		1日目	2日目
	1コマ	ガイダンス／PBL形式	PBL形式／発表準備
	2コマ	PBL形式	発表（模擬患者に対する実践）2班 フィードバック
	3コマ	PBL形式	発表（模擬患者に対する実践）2班 フィードバック
	4コマ	PBL形式／目標達成状況確認	発表（模擬患者に対する実践）2班 フィードバック